

## 記者発表資料

**全国初！！**

**「建設キャリアアップシステム（CCUS）活用工事（受注者希望方式）」の試行**

「CCUS活用工事（受注者希望方式）」は、自主的にCCUSを活用する企業を評価する仕組みとなります。

これまで取り組んできている「CCUS活用推奨モデル工事」は、発注者が工事を指定して、受注者にCCUS活用の希望があった場合に適用されましたが、本試行は、発注者が工事を指定せず、受注者にCCUSの取り組みを希望していただき、指標毎の目標基準の達成状況に応じて工事成績評定点を加点するものです。

今回の試行は、群馬県建設業協会と調整を図り、令和4年1月4日以降に工事公告するもので、施工箇所が群馬県内における全ての一般土木工事（Cランク）を対象として更なるCCUS活用推進を図る国土交通省直轄工事では初めての取り組みとなります。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

### お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部 電話 048-601-3151（代表）  
技術管理課 課長 荒井 満（あらい みつる）（内線3311）  
建設専門官 鷺谷 欣也（わしや きんや）（内線3312）

## 1. 試行内容

受注者が工事着手前に自主的に建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標（以下、「3指標」という）の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

## 2. 施工段階

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

## 3. 工事成績評定（工事完成検査／成績評定時）

受注者が工事着手前に自主的にCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

- ① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点  
⇒ 考査項目別運用表 「5. 創意工夫」「その他」で加点
- ② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点（①と②で合計2点加点）

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。

※3指標の最低基準及び目標基準、工事成績評定は、「CCUS活用推奨モデル工事」と同様です。

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

## <建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体  
(一財) 建設業振興基金

### 技能者情報等の登録



#### 【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

#### 【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況等

#### 【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容
- ・施工体制 等

### カードの交付・現場での読取

ピッ!



現場入場の際に読み取り



就業履歴を蓄積

### 技能者の経験の見える化・能力評価

評価基準に合わせて  
カードを色分け



レベル1  
初級技能者 (見習い)

レベル2  
中堅技能者  
(一人前の技能者)

レベル3  
職長として現場に  
従事できる技能者

レベル4  
高度なマネジメ  
ント能力を有す  
る技能者 (登録  
基幹技能者等)

### 現場管理のIT化・書類削減

### 見積り・請求のエビデンスとしての活用

### 施工実績DB・ビッグデータとしての活用

